

内閣府だより

平成22年度「子ども霞が関見学デー」(8月18日・19日)



会場の様子



サンゴのネックレスの制作体験

平成22年8月18日と19日の2日間にわたって、内閣府本府庁舎地下講堂において、『子ども霞が関見学デー』が開催されました。

「子ども霞が関見学デー」は、文部科学省をはじめとした各府省庁が連携して、業務説明や省内見学などを行うことにより、親子のふれあいを深め、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするともに、政府の施策に対する理解を深めてもらうことを目的に開催しています。

内閣府では、多くの部屋によるクイズやゲーム、体験プログラムなど工夫を凝らしたコーナーが設けられました。

沖縄担当部局においても、『沖縄を体験しよう!』というテーマの下、『サングでネックレスを作ってみよう!』、『星砂つてどんな手触り?』、『三線ってどんな音?』などのプログラムを実施しました。

子どもたちは、サングや星砂に触れたり、三線を弾いたりなど、沖縄独特の自然や文化などについて学んでいました。

【人事異動のお知らせ】

内閣府審議官(沖縄担当)に^{はらだ ただし}原田 正司が就任

平成22年7月30日付け 兵庫県出身59歳

略歴／昭和50年自治省入省

平成18年7月沖縄振興局長、同19年1月政策統括官(沖縄政策担当)を経て現職

趣味／愛犬との散歩

抱負／沖縄の立場に立って、政府との信頼関係醸成を図り、沖縄の振興と我が国の発展に少しでも役に立てればと考えています。

政策統括官(沖縄担当)に^{しみず おさむ}清水 治が就任

平成22年7月30日付け 東京都出身56歳

略歴／昭和51年大蔵省入省

平成19年1月沖縄振興局長を経て現職

趣味／グリーンウォッチング、太極拳

抱負／沖縄の魅力を活かした振興を目指し、努力したいと考えています。

沖縄振興局長に^{おおつじ よしひろ}大辻 義弘が就任

平成22年7月30日付け 京都府出身54歳

略歴／昭和54年通商産業省入省

平成20年7月内閣府大臣官房審議官を経て現職

趣味／野球、歌舞伎鑑賞

抱負／アジアの仕事を長くしていたので、アジアの中で沖縄の強みが輝くよう沖縄の振興に全力をつくしていきたいと思っています。

